三川町 学校運営協議会・地域学校協働活動通信

Vol.17
令和7年6月16日
発行：三川町教育委員会

Smiling
スマイリング

思いをカタチに ともに創る 笑顔の学校

三川町　教育目標

ふるさとと三川に想いをよせ、
共に輝きつづける人づくり

―目指す子ども像 三川の子ども―

- ○ ふるさとに学び、ふるさとを想う子ども
- ○ 学ぶ楽しさや意味を知り、学び続ける子ども
- ○ 多様性を認め合い、いのちを大切にする子ども
- ○ 心身ともに健やかで、豊かな人生を切り拓く子ども
- ○ 自然や文化を大切にし、未来につなぐ子ども

（令和７年制定）

三川町の教育目標が新たに制定されました。

令和７年度 第１回 三川町学校運営協議会

令和７年度テーマ 「少子化が進む中、今後の学校教育を考える」

児童数や生徒数が減少する状況の中で、
学校教育を地域がどのように支えていくかについて話題にしていきます。

児童数や生徒数の減少に伴い学校の適正規模についての心配が、話題になることがあります。

学校運営協議会では、「少子化が進む中、今後の学校教育を考える」というテーマで熟議を重ねていきます。児童数や生徒数が減少していくことで生じる課題について話題にし、地域ができる学校支援のあり方を話し合います。

第１回の分科会では、中学校部活動の加入生徒が減少し、部活動の存続危機にあること。複式学級についてのメリット・デメリット。少子化に伴う保護者の負担についてなど課題があがりました。一方で、児童数が減ることで教師の目が届きやすくなる、三川町内の小中学校が、それぞれ優れた特徴を持った学校にすることが大事、といった意見も出されました。今後も熟議を重ねていきます。

～令和７年度学校運営方針～　　各学校とも運営方針が承認されました

横山小学校

○身につけたい資質・能力として、「振り返る力。対話する力。見通す力。」を掲げ、何ができ何ができなかったかを自分事として考え、相手の思いを受け止めながら、想像力を働かせ聴くことを大切にする。
○めざす子どもの姿として、「目標に向かって協議し合える子」また、「主体的に学び合い、考えを深める子」を目指す。子どもたちには、「わくわくする気持ちと『対話』を大切にして学ぼう」と伝えている。
○登校時刻と教員の出勤時刻の関係。６時間授業の日を減らす等、日課表のあり方について検討していく。

東郷小学校

○学校目標を「思い描く学校を共に創る」に変更。めざす子ども像として「主体的に考え、行動する子ども」「相手を思いやり、協力する子ども」を新たに設定した。
○「ちょっとしたボランティアをみんなで」することをめざしていく。キーワードは、「主体的（けじめ・挑戦）「思いやり」「協力」の３つである。

○学習では、主体性と協調性を意識し、「主体的に学び合う授業づくり」に取り組んでいる。児童の「やりたい」「知りたい」を大切にした授業。対話「聞く」「話す」を大切にした授業を実践する。

押切小学校

○学校目標「いのち輝き　かしこく　やさしく　たくましい　子どもの育成」は踏襲した。新しいことに挑戦・みんなで知恵を出し合って・本気で取り組むことに邁進したい。
○めざす子ども像は、「本気で学ぶ子ども」（ワクワク）「互いに認め合い、笑顔きらめく子ども」（ニコニコ）「進んで体をきたえ、元気な子ども」（イキイキ）として努力する。
○「個別最適な学びと協働的な学びの推進」では、個の学びを大切にするとともに、ペア・グループ学習の日常化に努める。地域・山形大学等と連携し、三川ふるさと学習を充実していく。
○「押切スタンダート」の実施で、「あいさつ」…明るい声で、相手の目をみて、「返事」…話をよく聞きしっかり反応、「あとしまつ」…使う前よりきれいに。合言葉は、『凡事徹底』。

三川中学校

○今年度の重点として、「魅力ある学校づくり」「生徒にとって学びのある授業を創る」「寛容・共生・貢献の心を育む教育活動を推進する」「高い同僚性を大切にし、研鑽し合う教職員集団をめざす」とした。

○「自律・共生・貢献」をテーマに教育活動を展開する。昨年に引き続き日課表の見直しを検討。冬期間中は、安全面を考慮し、常に１６時４５分下校を行う。

第１回学校運営協議会の議事録は、三川町 HP からご覧いただけます。
三川町役場 HP →「暮らし」→「コミュニティ・スクール」